

国語科学習指導案

令和2年10月 第3学年 指導者 南雲 香織

1 単元名 いにしえの心と語らう「君待つと一万葉・古今・新古今」

2 学習指導要領上の位置付け

(1) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。

【知識及び技能 (3) 我が国の言語文化に関する事項ア】

(2) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつこと。

【思考力、判断力、表現力等 C 読むことエ】

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

3 目標

「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」を読み、「分析シート」を用いて和歌に表された心情や情景を想像する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 歴史的背景やそれぞれの和歌の特徴を捉えながら読むことで、和歌の世界に親しむことができる。

(知識及び技能)

(2) 和歌に表れた心情や情景などについて自分の考えをもち、互いに交流することで、理解を深めることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、わが国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（3／4）

(1) ねらい

「分析シート」を活用して、「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌に描かれた心情や情景などについて、自分の考えを広げさせる。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
1 課題をつかむ。 ・「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌について考えるのだな。 ・「万葉集」で学んだことを生かして読もう。	4分	○前時の学習を振り返ることで、本時の学習につながるようにする。 ○使われている表現技法や句切れ、係り結びなどの特徴を振り返ることができるように、教科書を見ながら音読させる。
【めあて】 どのような情景が読み取れるか、想像を広げよう。		
2 「分析シート」を用いて、歌に詠まれた情景についての想像を広げる。 ・「人はいさ」と「花ぞ」と強調しているから、人と花を比べていると思う。 ・「さめざらましを」と終わっているから、ああ残念だなあという気持ちだ。 ・二句で切れていて勢いを感じるから、激しい気持ちが表れていると思う。 ・体言止めが使われているから、この言葉がとても印象的だ。 3 読み取ったことから考えたことを、図で表現し、考えを文章にまとめる。 ・この和歌にはこのような言葉が使われていたので、この歌を詠んだ歌人はこんな気持ちをもっている。 ・この和歌に描かれている情景は、この言葉から考えると、こういうことだと思う。	30分 8分	◎できるだけたくさんの言葉を挙げさせることで、想像をより広げることができるようにする。 ・班で分担し、六つの和歌から一人一つずつ担当する。 ・「心情」「景色」「句切れ、表現技法など」「その他」の四つの観点を示したワークシートを用意し、それに基づいて記述させる。 ○想像をより広げ、深められるように、同じ和歌を選んだ生徒同士で話し合う時間をもたせる。 ・同じ和歌を選んだグループで交流し、他の人の言葉をもったり一緒に考えたりすることで、言葉を増やせるようにする。 ○観点ごとの記述で得た言葉を使い、和歌から想像できる情景を図で表現させ、考えを文章にまとめる。 ・観点ごとに記述した言葉がヒントとなるよう、見比べながら図を描くように助言する。 ・早く描けた生徒から、読み取ったことを文章で表すように言葉掛けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌を読み、和歌に表現された心情や情景を想像している。 <ワークシート(2)(3)〔記〕></div>
4 ワークシートをお互いに見せ合い、本時の成果を共有する。 ・たくさん言葉を書けたから、文章にすることができた。	5分	○成果を実感させ、また賞賛につながるように、近くの生徒同士で見せ合うだけでなく、意図的指名を行い数名の生徒のワークシートを紹介する。
5 本時の振り返りをする。 ・「分析シート」を活用することで、この和歌での歌人の気持ちを想像することができた。 ・同じ和歌を選んだ人たちと協力して、たくさん言葉を増やせた。	3分	○一時間の授業を通し、どのようなことが分かったか、ということを中心に本時の振り返りをさせる。 ○次回の見通しがもてるように、絵を見せながら交流会をすることを伝える。

・たくさん言葉を書いていくことで、よりこの和歌で描かれた景色が分かってきたと思う。

6 板書計画

めあて どのような情景が読み取れるか、想像を広げよう。

古今和歌集
紀貫之
人はいさ心も知らずふるさと花（花）昔の香（香）にほひける

藤原敏行
秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音に（音）おどろかれぬる

小野小町
思ひつつ寝ればや人の見えつらむ／夢と知りせば覚めざらましを

新古今和歌集
西行法師
道の辺に清水流るる柳かげ／しばしとて（柳）立ちどまりつれ

藤原定家
見わたせば花も紅葉もなかりけり／浦の苫屋の秋の夕靄

式子内親王
玉の緒よ絶えなば絶えね／ながらへば忍ぶことの弱りも（玉）する

◎「分析シート」を使って、どんな情景か考えを広げよう。

この和歌には、○○○○という言葉が使われているので、この歌を詠んだ歌人は○○○○という気持ちだと思ふ。また、○○○○と言っているの、○○○○という景色が表されているのだと思ふ。

昔 ふる ふる ふる	古今和歌集	新 新 新 新
---------------------	-------	------------------

指導計画 国語科 第3学年 単元名「君待つと一万葉・古今・新古今」(全4時間計画)

目標	<p>「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」を読み、「分析シート」を用いて和歌に表された心情や情景を想像する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 歴史的背景やそれぞれの和歌の特徴を捉えながら読むことで、和歌の世界に親しむことができる。 (知識及び技能)</p> <p>(2) 和歌に表れた心情や情景などについて自分の考えをもち、互いに交流することで、理解を深めることができる。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) 三大和歌集の代表的な和歌について、歴史的背景やそれぞれの和歌の特徴を捉えながら読んでいる。 【知識・技能(3) 我が国の言語文化に関する事項ア】</p> <p>(2) 読むことにおいて、和歌に表れた心情や情景などについて自分の考えをもち、互いに交流することで、理解を深めている。 【思考・判断・表現C読むことエ】</p> <p>(3) 粘り強く和歌に現れた情景や心情を読み取ろうとしながら、学習の見通しをもって、「分析シート」に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	<p>○三つの和歌集の成立の時代や作者を確認し、基礎的な知識を捉えた上で音読をすることで、それぞれの歌集の特徴や歌風を感じさせる。</p> <p>単元の課題 和歌に表現された情景を想像して、交流会をしよう。</p> <p>それぞれの和歌集にどのような違いがあるか、考えながら読もう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 和歌といっても、その時代によって雰囲気や選ばれている歌人の身分などが違うことが分かった。 昔とはいっても、時代によって使われている言葉が変わるのだな。 強調されている言葉が分かった。 それぞれの和歌がどのような情景を詠んでいるのか、知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの和歌集の和歌を読み、単元の課題に向けて意欲的な発言をしている。 <p>〈ワークシート(1)(3)[記]〉</p>
追究する	1	<p>○「万葉集」の和歌を読み、どのような情景が表現されているか想像させる。</p> <p>どのような情景が表現されているか、想像しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 係り結びで強調したり、体言止めで印象を強めたり、工夫して表現している部分から、どのような情景か想像できた。 強く言いたいところや、印象的に終わらせている部分から、どのような様子か考えられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「万葉集」の和歌を読み、和歌に表現された心情や情景を想像している。 <p>〈ワークシート(2)(3)〉</p>
	1	<p>○「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌を読み、「分析シート」を用いて、表現された情景について想像を広げさせ、和歌についての自分の考えをまとめさせる。</p> <p>どのような情景が読み取れるか、想像を広げよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのような場面や気持ちを歌っているか、「分析シート」に記述することができた。 歌の中の言葉から、どのような情景を表そうとしているのか、たくさん想像をすることができた。 同じ和歌を選んだ人たちと相談して、たくさん想像を広げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌を読み、和歌に表現された心情や情景を想像している。 <p>〈ワークシート(2)(3)[記]〉</p>
まとめる	1	<p>○和歌に描かれた情景について考えた文章をお互いに交流し合い、それぞれの和歌への理解をより深めさせる。</p> <p>交流会を通し、和歌からどんなことが想像できるか話し合おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が和歌から読み取って考えたことを、図を使いながらみんなに説明できた。 図を見ながら、歌のどのような部分を表しているのか、歌とよく比べて考えることができた。 みんなの図と説明から、歌に詠まれた情景や心情が、より分かるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌を読み、和歌に表現された心情や情景を想像している。 <p>〈ワークシート(2)(3)[記]〉</p>